

# キンディア州サモレヤの ギニア平和維持センター(CEOMP)に 対する支援



日本補正予算：2020年3月～2021年3月  
予算：29万6,000米ドル  
主なパートナー：国防省

## 目的

このプロジェクトは、国連の標準的手続きに則って国連平和維持ミッションが遂行されるために必要な資源と能力を備えた体制を作りあげると共に、国連平和維持ミッションに派遣する部隊を養成する能力の強化に寄与します。

このプロジェクトによって、国連平和維持活動(PKO)で展開される部隊の技術的能力と訓練施設が強化されます。

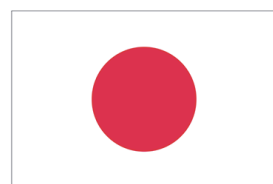
## プロジェクトの成果

成果1：平和維持ミッションに派遣される部隊の準備態勢を整えるため、サモレヤギニア平和維持センターの技術的知識と専門能力を育成すること

成果2：兵員により良い養成環境を提供するため、ギニア平和維持センターのインフラを整備すること

## SDGs への貢献

このプロジェクトは、SDGsの目標16に貢献します。



From  
the People of Japan

## 開発課題

ギニアの社会政治的現状に鑑み、プロジェクトは、軍当局と国防省が抱える制約と制裁に配慮し実施を試みます。軍を取り巻く情勢は楽観を許さない状況です。その旨、プロジェクト活動の実施を担うギニア平和維持センタースタッフの任命と交代は、大統領または国防大臣の独自の裁量で行うことができます。他方、領土保全と国民保護の必要性から、軍全体をいつでも招集できる状況であるため、プロジェクトのタイムラインへの影響が懸念されています。2020年、ギニアで大統領選が実施されることは間違いなく、この選挙期間に生じうる出来事とその影響も、現時点での情勢からは掌握が困難となっています。